

地球にECO(いーご)としよう

省エネグループ通信



巻頭言

「スマートライフスタイル」の実践で

持続可能な低炭素社会へ

川崎市環境局地球環境推進室長 大澤 太郎

川崎市では、一昨年の震災を契機とした節電・省エネへの意識の高まりを中長期的な地球温暖化対策につなげていく観点から、無理なく節電・省エネ等の地球温暖化対策を実践する「スマートライフスタイル」への転換を呼びかけており、この一環で、市民、事業者の優れた取組を表彰する「スマートライフスタイル大賞」制度を創設いたしました。



省エネグループの皆様におかれては、小学校における独自の出前授業プログラムや親子で取り組む「夏休みエコライフチャレンジ」、イベントでの啓発活動等が高く評価され、昨年の第1回目の表彰で「大賞」を受賞されました。

川崎市といたしましても、持続可能な低炭素社会を構築して次の世代へ良好な環境を残していくため環境に配慮した生活の実践を呼びかけるとともに、こうした活動が地域でさらに広がっていくよう一層取り組んでまいりたいと考えております。今後とも市民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

どんな社会をつくっていくか

川崎市地球温暖化防止活動推進センター
センター長 竹井 齋

川崎市では全国的な人口減少に反して、もう暫く人口増加と世帯数増加が続く見込みです。2011年3月に策定された川崎市地球温暖化対策推進実施計画でも、家庭系の温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の削減が掲げられています。ここに、川崎市地球温暖化防止活動推進員のみなさん、特に省エネグループのみなさんへ、大きな期待が寄せられています。

2011年の東日本大震災以降、原子力発電をどうするか、環境とエネルギー政策の議論が続いています。その中で、変わらないのは省エネルギー・節電の必要性です。まだまだ、家庭、地域、学校で取り組む余地は大きく残っています。ぜひ、省エネグループのみなさんと、エネルギー高依存からの脱却、そして、若い世代へ暮らしやすい社会を残すためにも、一緒に取り組んでみませんか。



川崎市地球温暖化防止活動推進センター
CCかわさき交流コーナー

省エネグループ 2012年度の活動記録

低炭素杯 2013 に出場

川崎市が2012年度に新設した「スマートライフスタイル大賞」の第1回大賞を受賞したことを受けて、低炭素杯2013に応募した。

全国1,371団体の応募の中から、ファイナリスト40団体が選ばれ、その中に省エネグループがノミネートされました。その40団体が、東京ビックサイトにおいて、2013年2月16日に各グループが4分間の活動内容のプレゼンテーションを行い、翌17日に審査結果の発表がありました。



省エネグループのプレゼンテーション

省エネグループは、小学校や自治会での出前授業、夏休みエコライフチャレンジ及び市内各地のイベント出展での節電・省エネの啓発等の活動内容を紹介しました。審査結果は、残念ながら受賞することはできませんでしたが、貴重な経験となり、今後の活動の活力になったと感じています。

出前授業

2012年度も、6月から希望した小学校に対して出前授業を実施しました。「地球温暖化とは一見て、触れて、感じてー」、「節電にみんなで取り組もう」、「エネルギーってなあに?」「葉っぱはえらい」の4つのプログラムの中から学校が希望したテーマの講義25分と手回し発電などの体験20分を交えた45分の授業で、クラス毎に実施しました。

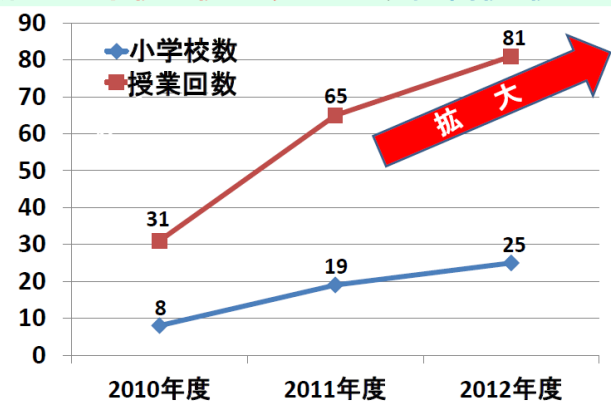
延べ25校の小学校で、授業の回数は、81回(81クラス)に及びました。授業の実績は、右図に示すように、年々増加してきています。

各学校、各クラス共に活発な発言や質問が有り、また、体験では子ども達の目も輝き、「発電することは疲れる」、「節電は大切なんだ」、「温暖化は防ぎたい」などの声が聞かれ、楽しく取り組んでいました。

2013年度も多くの学校で実施していきたいです。

出前授業実施の実績推移

累計: **小学校52校 5,931人**、**中・高校2校 90人**



講義の様子



発電体験の様子

スマートライフスタイル大賞 受賞

2012年度、川崎市は「カーボン・チャレンジ 川崎エコ戦略」に基づき低炭素社会の構築を目指した取組みを進める為に、CO2削減、地球温暖化対策に貢献する市民、事業者等の優れた取組みを表彰する「スマートライフスタイル大賞」制度を創設した。

省エネグループは、記念すべき第1回に応募した結果、「地球温暖化対策及び省エネルギーの普及・啓発活動」が認められ、「大賞」を受賞することができ、11月24日に川崎市長から表彰状と記念の盾をいただきました。受賞の後、活動内容についてプレゼンを行いました。



阿部市長より
表彰状を授与



夏エコ

夏休みのエコライフ・チャレンジは、川崎市の省エネルギー推進を目的に、2005年から開始した、子どもたちが家庭で実践できる夏休みの省エネ活動です。2012年は、川崎市立の小学校5年生958人が、夏休み中の10日間エコライフにチャレンジしました！！

エコライフ・チャレンジ メニュー

冷房は28℃にしよう♪

テレビは見たい番組だけつけよう！

使わない部屋の明かりはこまめに消そう

冷蔵庫の開け閉めは、素早くし、開ける時間を少なくしよう

電気製品は、主電源で切ろう。長く使わない時は、コンセントからぬこう

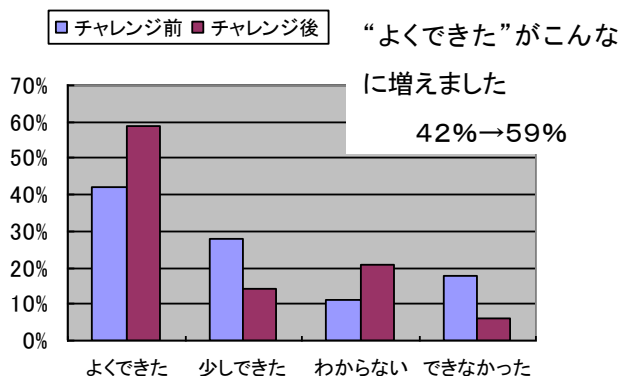
同じ部屋で家族がいっしょに過ごす時間を増やそう

早寝早起きしよう

シャワー、ハミガキ、洗顔では水を出しっぱなしにしないぞ
部屋で涼しく過ごす工夫をしよう(緑のカーテンなど)

でかける時は歩きや自転車、電車、バスを利用しよう

チャレンジの結果



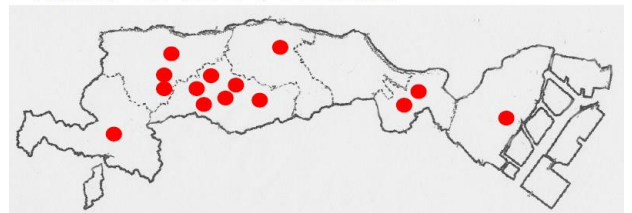
学習会とイベント

自治会・町内会への「節電・省エネの学習会」を開催し、市内14の自治会・町内会で450人以上の参加者があり、熱心に聴いていただきました。



学習会の風景

自治会・町内会の学習会実績



また、2012年度も各地区で開催されるイベントに出展して、節電、省エネの啓発活動を行いました。

出展は、10地区で延べ1,750人以上の市民にブースへ立ち寄っていただき、節電、省エネの大切さを実感して頂きました。



イベント出展の風景

省エネグループの紹介

省エネグループは地球温暖化防止のため、家庭での省エネを実践するための意識啓発活動をしています。夏エコ、エコたのしみ隊、企画、広報の各チームにわかれて活動しています。

夏エコチームは「夏休みエコライフチャレンジ」を配布し、小学生とご家族で取り組むことで省エネ意識を高めていただく活動です。

エコたのしみ隊は出前授業とイベントを担当します。出前授業は市内の小学生を中心に地球温暖化防止に関する4つのプログラムによる講義と手回し発電機による体験を交えて、わかりやすい授業をします。また市内各所で行われる環境イベントに積極的に参加し、地球温暖化防止を訴えます。

企画チームはさらに良い活動ができるよう、提案や自己研鑽のための講座等を企画し実施します。

今年度の活動は各チームともいろいろ工夫をしています。

夏エコチームは取り組みやすい内容に改訂し、取組み期間を見直しました。

エコたのしみ隊は4つの講義プログラムについて、新しい情報を取り込んで内容を見直すとともに、よりわかりやすい授業を目指します。



4/25の定例会に出席したメンバー

て、新しい情報を取り込んで内容を見直すとともに、よりわかりやすい授業を目指します。

企画チームはグループ員のレベルアップと、より良い活動ができる体制づくりを目指します。

広報チームは各チームの活動を皆様にお伝えできるよう、ホームページの充実や広報紙をお届けします。

皆さんも一緒に活動しませんか。

「省エネグループ通信」発行に際して

今年度の省エネグループの活動は、基本は従来の活動におきますが、よりパワーアップした地球温暖化防止の活動を進めていきます。そのためには対象となる市民の皆様や、学校、行政、川崎市センター、他のプロジェクトの皆様等ともコミュニケーションをより深めていきたいと思ひます。そのためには

当グループの活動をより多くの方に知っていただくことが重要だと考え、活動内容を随時お知らせする広報紙の発行をすることにしました。できるだけ多くの皆様に見ていただき、お気軽に声をかけていただける省エネグループにしていきたいと思ひます。

—ご意見をお寄せください—

本紙に対する、ご意見、ご要望、ご感想、更には皆様のエコ情報・体験などを下記へお寄せください。皆様と共に、地球環境を維持するため、「楽しく、かつよく、得する」エコを実践していきたいと思ひています。

連絡先

川崎市地球温暖化防止活動推進センター 省エネグループ

〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 高津市民館内

TEL 044-813-1313

FAX 044-813-1350

E-mail : office@kwccca.com

発行責任者: 省エネグループ代表 八木洋一